



Classic Console Compressors

クラシック・コンソール・コンプレッサ

TDM とネイティブプラグイン バージョン 1.0

ユーザーガイド



Copyright
Copyright 2005 Unique Recording Software, Inc.
All trademarks are property of their respective owners.

URS is a trademark of Unique Recording Software, Inc. URS Classic Console Compressors are copyrighted 2005 by Unique Recording Software, Inc.

Unique Recording Software
PO Box 499
Westhampton, NY 11977
United States
ホームページ : www.ursplugins.com

Credits

開発チーム : Bobby Nathan
GUI、プログラミング : Cool Stuff Labs, Inc.
グラフィックス : Manny Ojeda
書類 : Bobby Nathan

カタログ番号

URSCOMPTDM

URSCOMP NAT

目次

第1章：はじめに	4
第2章：インストール、ユーザ登録、オーソライズ	5
インストール	5
ユーザ登録	5
オーソライズ	6
第3章：URS Classic Console コンプレッサのみバージョン	7
URS Classic Console コンプレッサのみバージョンについて	7
URS Classic Console コンプレッサのみバージョン仕様	8
入力ゲインの調整	8
レシオの調整	9
スレッシュホールドの調整	10
アタックタイムの調整	10
リリースタイムの調整	10
出力ゲインの調整	11
コンプレッサのバイパス	11
ゲインリダクションメーターの使用	12
入出力プラズマ VU メーターの使用	12
第4章：URS Classic Console コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーンフィルター・バージョン	13
URS Classic Console コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーンフィルター・バージョンについて	13
URS コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーンフィルター・バージョン仕様	14
入力ゲインの調整	15
コンプレッサレシオの調整	15
コンプレッサスレッシュホールドの調整	16
コンプレッサアタックタイムの調整	16
コンプレッサリリースタイムの調整	16
コンプレッサ出力ゲインの調整	17
コンプレッサのバイパス	17
リミッタのバイパス	17
リミッタスレッシュホールドの調整	18
リミッタアタックタイムの調整	18
リミッタリリースタイムの調整	18
内蔵サイドチェーンフィルターの使用	19
ハイパスフィルターの設定	19
ハイパスフィルターのバイパス	19
ローパスフィルターの設定	20
ローパスフィルターのバイパス	20
フィルターの使用	20
Listen（視聴）機能の使用	21
内部または外部サイドチェーンの選択	21
ゲインリダクションメーターの使用	22
入出力プラズマ VU メーターの使用	22
第5章：ブロック図	23
コンプレッサのみバージョンのブロック図	23
コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーン・バージョンのブロック図	23
第6章：操作上のヒント	24
ICON, ProControl, Control 24, Command 8 と他のコントロールサーフェス	24
操作上の人	25
バージョン番号	25
スクロールホイールマウス対応	25
第7章：URS クイックスタートガイド	26

第1章：はじめに

Unique Recording Software, Inc. (URS) の URS Classic Console Compressors をご購入いただきありがとうございます。URS Classic Console Compressors はその音質で知られ、最も人気のある2機種の英国製コンソールバスリミッタをそれぞれデジタルで再現しました。

- 1970年代のコンプレッサ：トランス入力部とダイオードブリッジ型ゲインリダクションアンプ。
- 1980年代コンプレッサ：IC入力部と電圧制御アンプ（VCA）。

1970と1980 URS Classic Console Compressors にはそれぞれコンプレッサのみのバージョンとコンプレッサ/リミッタ/内部サイドチェーンバージョンが含まれます。



コンプレッサのみバージョン



コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーンバージョン

Unique Recording Software のエンジニアは覚えやすく直感的な操作性を実現するためのユニーク (!) なインターフェースを開発しました。もちろん一番重要である音質においても URS Classic Console Compressor は最も音楽的であると言われる2つのコンプレッサの音を忠実に再現しています。

URS Classic Console Compressor プラグインは Pro Tools TDM、または LE 用、二種のパッケージが用意されています。

- TDM 版は TDM、RTAS、Audiosuite 対応。192kHz まで使用可。
- Native 版は RTAS、Audiosuite 対応。192kHz まで使用可。

また、Classic Console Compressor は全て Mono、Stereo、そして Multi-Mono 形式に対応。

動作環境：

- Compressor プラグインバージョン 1.0 は Macintosh OS X、OS 9、WinXP のみ対応（最新の対応環境情報は URS ウェブサイトをご参照ください）
- Pro Tools TDM または LE システムにて Pro Tools 5.2.1 以上（Pro Tools 7.0 と Tiger を含む）
- URS Classic Console Compressor プラグインのオーソライズには iLok スマートキー が必要です。お持ちでない場合はデジデザインのウェブサイトの iLok 情報をご参照ください。

TDM システムの DSP 使用：

下記は TDM システムにて各プラグインの理論上の最高同時使用数の表です（モノの場合）。

Pro Tools TDM システム：		HD Accel			HD			MIX
サンプルレート (kHz)：		44.1 / 48	88.2 / 96	186.4 / 192	44.1 / 48	88.2 / 96	186.4 / 192	44.1 / 48
プラグイン	URS Compressor	15	8	4	9	4	2	3
	URS Compressor/Limiter	7	4	2	3	2	1	1

第2章：インストール、ユーザ登録、オーソライズ

次のように Classic Console Compressor プラグインのインストールを行います：

1. まずプラグインをインストールします。
2. 次に Unique Recording Software でユーザ登録を行います。
3. 最後にユーザ登録の際に発生するオーソライズ・コードでプラグインをオーソライズします。

インストール、ユーザ登録、オーソライズの詳しい手順は下記をご参照ください。

インストール：

Classic Console Compressor プラグインをインストールするには：

1. まず URS のホームページ(www.ursplugins.com) からインストーラをダウンロードするか Classic Console Compressor インストーラディスクを CD-ROM ドライブに挿入してください。インストーラは Pro Tools システム、コンピューターシステム、そして OS 別にそれぞれ用意されていますので使用システムに合ったものをご使用ください。
2. ご購入された URS プラグインバンドルのインストーラをダブルクリックします。TDM ユーザーは TDM バンドルを、LE ユーザーは LE バンドルのインストーラを使用します。
3. 画面の指示に従ってプラグインをインストールします。終了しましたらインストーラディスクを取り出してください。

プラグインのオーソライズを行うにはユーザ登録が必要です。またユーザ登録をすることによりソフトのアップデートが可能になります。

ユーザ登録：

ユーザ登録は URS のホームページにて行います。ユーザ登録はご購入された URS 製品を最大限に利用するための最も有効な手段です。

登録を行うには：

1. www.ursplugins.com にアクセスし”Register Products”のリンクをクリックします。
2. ユーザ登録フォームに E メールアドレスを含めた必要事項を入力します。この際、伝票番号 (“Invoice Number”、URS 直販ネットストア購入の場合) 又は販売店のディーラー番号 (“Dealer License Number”、URS 直販以外の販売店購入の場合) を忘れずにご記入ください。
 - URS 直販ネットストアでご購入の場合 Invoice Number と購入日をご記入ください。
 - それ以外でご購入の場合は販売店名、販売店番号 (販売店番号は同梱の URS 製品登録カードに記載されています)、そして購入日をご記入ください。
3. 登録の終了後、記入したメールアドレス宛に URS から URS ユーザーID と一時的なパスワード (後で変更可能) が送信されます。
4. このメールを受信されましたら再度 URS ホームページにアクセスし、ユーザー名、パスワードを使ってログインします。
5. 画面の指示に従いパスワードを変更します。新しいパスワードを作成すると自動的に URS Welcome ページに移ります。
6. このページの”Download”リンクをクリックすると最新バージョンの URS プラグイン、iLok ドライバ、取扱説明書、デモソフト等のダウンロードページに移ります。

必要であればここで最新バージョンのプラグインやドライバのインストーラをダウンロードしてください。

オーソライズ

ユーザ登録を完了しましたら iLok.com にてお手持ちの iLok スマートキーに URS の Assets（認証許可ライセンス）を転送します。（URS はユーザ登録を確認した時点で assets をお客様の iLok.com アカウントに転送いたします）

オーソライズの流れ：

- URS ホームページにてユーザ登録をすることにより ilok assets（認証許可ライセンス）が発生します。
- iLok.com にて URS の assets をお客様の iLok に転送します。
- この iLok を挿入することによりインストールしたプラグインが使用可能になります。

詳しい手順は下記をご参照ください。

始める前に：

1. まだユーザ登録を完了していない場合は先に登録を行ってください（前項参照）。URS はユーザ登録を確認後、assets（認証許可ライセンス）をお客様の iLok.com アカウントに転送いたします。
2. iLok をインターネットに接続しているコンピューターの USB ポートに挿入します。

Assets を転送します：

1. www.iLok.com にアクセスします。
2. ログインします。まだ iLok.com ユーザアカウントをお持ちでない場合は新規登録します。（Pro Tools Plug-n Guide に iLok についての詳細情報が載っています）
3. 画面の指示に従い Classic Console Compressor の assets を iLok に転送します。

プラグインのオーソライズ：

1. プラグインのインストール、ユーザ登録、iLok への assets 転送を全て完了したことをご確認ください。
2. Pro Tools を起動します。
3. 画面に指示が出ますので iLok を USB ポートに挿入します。画面の指示に従いオーソライズを完了します。

ユーザサポート

サポートは下記のメールにてお願い致します。

support@ursplugins.com.

メール本文に URS ネットストアの伝票番号または URS ライセンス番号とお客様の電話番号をご記入ください。

プラグインの最新バージョン、マニュアルや他の関連ソフトは URS ホームページ (www.ursplugins.com) のユーザページからダウンロードいただけます。

第3章：URS Classic Console コンプレッサのみバージョン

URS Classic Console Compressor プラグインは 192kHz まで全てのサンプルレートに対応、またモノ/ステレオの Audioトラック、Aux Input、マスターフェーダーに挿入できます。



URS 1970 コンプレッサのみバージョン

URS プラグインのインサート（挿入）：

1. Audioトラック、Aux input、またはマスターフェーダーを作成します。
2. URS コンプレッサのみバージョンをトラックインサートリストから選択します（プラグイン挿入の基本については Pro Tools の説明書をご参照ください）。
3. パラメーターの調整については次のセクションをご参照ください。

Audiosuite 使用の際は処理したい素材を選択し、パラメータを調節後プロセスします。
Audiosuite の使用方法については Pro Tools の説明書をご参照ください。

URS Classic Console コンプレッサのみバージョンについて

URS Classic Console Compressor の操作は簡単で、ビンテージサウンドとモダンな機能を併せ持っています。

2機種あります：

- 1970 コンプレッサ
- 1980 コンプレッサ

URS Classic Console Compressor では素早く最適のコンプレッションを得ることができます。的確なコントロールによってエンジニアはゲイン調整やレベルのバラつきなどをすぐに修正できるでしょう。

URS 1970 Classic Console コンプレッサのみバージョン仕様

• 仕様

- 入力レベル
- 出力レベル
- スレッシュホールド
- アタック・タイム 1ms - 50ms.
- リリース・タイム 1ms - 1500ms.
- レシオ 1.5:1, 2:1, 2.5:1, 3:1, 3.5:1, 4:1, 4.5:1, 5:1, 5.5:1, 6:1, 6.5:1, 7:1, 8:1, 9:1, 10:1, 20:1, 35:1, 50:1, 100:1
- ゲインリダクションメーター
- バイパススイッチ
- 入力トリム -10 - +20dB (.1dB の精度で調整可)
- 「プラズマ」タイプ入出力 VU メーター

URS 1980 Classic Console コンプレッサのみバージョン仕様

• 仕様

- 入力レベル
- 出力レベル
- スレッシュホールド
- アタック・タイム 1ms - 50ms.
- リリース・タイム 1ms - 1500ms.
- レシオ 1.5:1, 2:1, 2.5:1, 3:1, 3.5:1, 4:1, 4.5:1, 5:1, 5.5:1, 6:1, 6.5:1, 7:1, 8:1, 9:1, 10:1, 20:1, 35:1, 50:1, 100:1
- ゲインリダクションメーター
- バイパススイッチ
- 入力トリム -10 - +20dB (.1db の精度で調整可)
- 「プラズマ」タイプ入出力 VU メーター

入力ゲインの調整

入力ゲインの調整：

1. Input Level のつまみをクリック／ドラッグしてゲインを調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してゲインを調整できます。数値ウィンドウは Input Level つまみの上に位置します（下図参照）。



Input Level つまみをクリック／ドラッグして入力レベルを調整します

レシオの調整

レシオの調整：

1. Compress Ratio つまみをクリック／ドラッグしてレシオ値を調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してレシオを調整できます。数値ウィンドウは Compress Ratio つまみの上に位置します（下図参照）。



コンプレッションレシオつまみ

スレッシュホールドの調整

スレッシュホールドの調整：

1. Compress Threshold つまみをクリック／ドラッグしてスレッシュホールド値を調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してスレッシュホールドを調整できます。数値ウィンドウは Compress Threshold つまみの上に位置します（下図参照）。



コンプレッションスレッシュホールドつまみ

アタックタイムの調整

アタックタイムの調整：

1. Attack つまみをクリック／ドラッグしてアタックタイム値を調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してアタックタイムを調整できます。数値ウィンドウは Attack つまみの上に位置します（下図参照）。



コンプレッサのアタックタイムつまみ

リリースタイムの調整

リリースタイムの調整：

1. Release つまみをクリック／ドラッグしてリリースタイム値を調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してリリースタイムを調整できます。数値ウィンドウは Release つまみの上に位置します（下図参照）。



コンプレッサのリリースタイムつまみ

出力ゲインの調整

Gain Makeup つまみでゲインリダクション回路の後の出力レベルを調整します。

出力ゲインの調整：

1. Gain Makeup つまみをクリック／ドラッグしてゲインを調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してゲインを調整できます。数値ウィンドウは Gain Makeup つまみの上に位置します（下図参照）。



コンプレッサの出力ゲインつまみ

コンプレッサのバイパス

コンプレッサのバイパス：

コンプレッサの IN ボタンをクリックしてバイパス入／切を切り替えます。IN ボタンが有効である時（コンプレッサ作動時）には LED が点灯します。バイパス時には LED は消え、プラグインウィンドウの Bypass スイッチが点灯します。



コンプレッサのみバージョンのバイパスボタン

ゲインリダクションメーターの使用

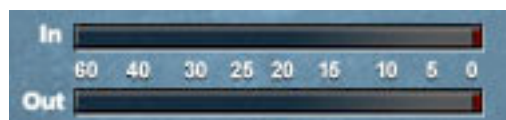
コンプレッサのみバージョンではゲインリダクションメーターはコンプレッサによるレベルの減少値を示します。



コンプレッサのみバージョンのゲインリダクションメーター

入出力プラズマ VU メーターの使用

入力と出力メーターは上下に並んで配置されているためプラグインウィンドウ内で素早くレベルを比較することができます。Pro Tools ではオーバーロードを防ぐためゲイン・ステージが非常に重要です。メーターには赤色のクリップインジケーターが付いています。



URS コンプレッサ入出力メーター

クリップインジケーターのリセット

- 赤く点灯している部分をクリックするとリセットされクリップインジケーターは消えます。
- ヒント：Option キーを押さえながらクリップインジケーターをクリックすると入出力とも同時にリセットされます。

第4章：URS Classic Console コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーンフィルター・バージョン

URS Classic Console Compressor プラグインは 192kHz まで全てのサンプルレートに対応、またモノ/ステレオの Audioトラック、Aux Input、マスターフェーダーに挿入できます。



URS 1970 コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーンフィルター・バージョン

URS Classic Console コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーンフィルター・バージョンについて

URS Classic Console コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーンフィルター・バージョンには自動ゲインリダクションを制御するためプロ仕様の機能が装備されています。信号の流れさえ把握すればコンプレッサのみバージョンと同じように簡単な操作が可能です（信号の流れは第5章シグナルフローブロック図をご参照ください）

URS Classic Console Compressor はビンテージサウンドとモダンな機能を併せ持っています。使用時にはまず適度なコンプレッションを設定してから「ブリックウォール」リミッタを設定します。内蔵サイドチェーンフィルターを使ってコンプレッサとリミッタの作用特性を調整します。

2機種あります：

- 1970 コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーンフィルター
- 1980 コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーンフィルター

URS 1970 Classic Console コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーンフィルター・バージョン仕様

仕様

- 入力レベル
- 出力レベル
- スレッシュホールド (リミッタ用とコンプレッサ用に 2 ケ)
- リミッタアタック・タイム 1ms - 50ms
- リミッタリリース・タイム 10ms - 1500ms
- リミッタレシオ 100:1 (固定)
- コンプレッサアタック・タイム 1ms - 50ms
- コンプレッサリリース・タイム 10ms - 1500ms
- コンプレッサレシオ 1.5:1, 2:1, 2.5:1, 3:1, 3.5:1, 4:1, 4.5:1, 5:1, 5.5:1, 6:1, 6.5:1, 7:1, 8:1, 9:1, 10:1, 20:1, 35:1, 50:1 and 100:1
- ハイパスフィルター・サイドチェーン@12dB/オクターブ
- ローパスフィルター・サイドチェーン@12dB/オクターブ
- ゲインリダクションメーター
- バイパススイッチ
- 入力トリム -10 - +20dB (.1dB の精度で調整可)
- 「プラズマ」タイプ入出力 VU メーター

URS 1980 Classic Console コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーンフィルター・バージョン仕様

Specifications

- 入力レベル
- 出力レベル
- スレッシュホールド (リミッタ用とコンプレッサ用に 2 ケ)
- リミッタアタック・タイム 1ms - 50ms
- リミッタリリース・タイム 10ms - 1500ms
- リミッタレシオ 100:1 (固定)
- コンプレッサアタック・タイム 1ms - 50ms
- コンプレッサリリース・タイム 10ms - 1500ms
- コンプレッサレシオ 1.5:1, 2:1, 2.5:1, 3:1, 3.5:1, 4:1, 4.5:1, 5:1, 5.5:1, 6:1, 6.5:1, 7:1, 8:1, 9:1, 10:1, 20:1, 35:1, 50:1 and 100:1
- ハイパスフィルター・サイドチェーン@12dB/オクターブ
- ローパスフィルター・サイドチェーン@12dB/オクターブ
- ゲインリダクションメーター
- バイパススイッチ
- 入力トリム -10 - +20dB (.1dB の精度で調整可)
- 「プラズマ」タイプ入出力 VU メーター

入力ゲインの調整

入力ゲインの調整：

数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してゲインを調整できます。数値ウィンドウは Input Level つまみの上に位置します（下図参照）。

1. Input Level のつまみをクリック／ドラッグしてゲインを調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してゲインを調整できます。数値ウィンドウは Input Level つまみの上に位置します（下図参照）。



Input Level つまみをクリック／ドラッグして入力レベルを調整します

コンプレッサレシオの調整

コンプレッサレシオの調整：

1. Compress Ratio つまみをクリック／ドラッグしてレシオ値を調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してレシオを調整できます。数値ウィンドウは Compress Ratio つまみの上に位置します（下図参照）。



コンプレッションレシオつまみ

コンプレッサスレッシュホールドの調整

スレッシュホールドの調整：

1. Compress Threshold つまみをクリック／ドラッグしてスレッシュホールド値を調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してスレッシュホールドを調整できます。数値ウィンドウは Compress Threshold つまみの上に位置します（下図参照）。



コンプレッションスレッシュホールドつまみ

コンプレッサアタックタイムの調整

アタックタイムの調整：

1. コンプレッサの Attack つまみをクリック／ドラッグしてアタックタイム値を調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してアタックタイムを調整できます。数値ウィンドウはコンプレッサの Attack つまみの上に位置します（下図参照）。



コンプレッサのアタックタイムつまみ

コンプレッサリリースタイムの調整

リリースタイムの調整：

1. コンプレッサの Release つまみをクリック／ドラッグしてリリースタイム値を調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してリリースタイムを調整できます。数値ウィンドウはコンプレッサの Release つまみの上に位置します（下図参照）。



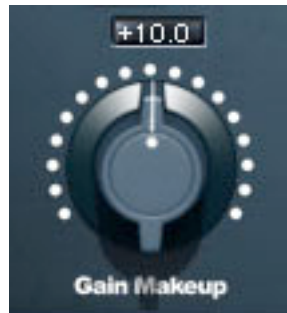
コンプレッサのリリースタイムつまみ

コンプレッサ出力ゲインの調整

コンプレッサの Gain Makeup つまみでコンプレッサのゲインリダクション回路の後の出力レベルを調整します。URS コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーン・バージョンの出力ゲイン設定はリミッタのスレッシュホールドの作用に影響を与えます。そのため出力ゲインの設定はリミッタ部に入力される信号の強さを調整することになります。

出力ゲインの調整：

1. Gain Makeup つまみをクリック/ドラッグしてゲインを調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してゲインを調整できます。数値ウィンドウは Gain Makeup つまみの上に位置します（下図参照）。

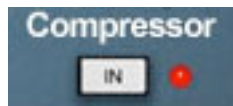


コンプレッサの出力ゲインつまみ

コンプレッサのバイパス

コンプレッサのバイパス：

コンプレッサの IN ボタンをクリックしてバイパス入/切を切り替えます。IN ボタンが有効である時（コンプレッサ作動時）には LED が点灯します。バイパス時には LED は消え、プラグインウィンドウの Bypass スイッチが点灯します。



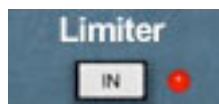
コンプレッサのバイパスボタン

コンプレッサのバイパス時には出力ゲインも同時にバイパスされます。この動作は出力ゲインが高く設定されている際などにコンプレッサをバイパスした時、信号レベルの大きな変化を防ぐための設計です。

リミッタのバイパス

リミッタのバイパス：

リミッタの IN ボタンをクリックしてバイパス入/切を切り替えます。IN ボタンが有効である時（リミッタ作動時）には LED が点灯します。バイパス時には LED は消えます。



リミッタバイパスボタン

リミッタスレッシュホールドの調整

スレッシュホールドの調整：

1. Limit Threshold つまみをクリック／ドラッグしてスレッシュホールド値を調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してスレッシュホールドを調整できます。数値ウィンドウは Limit Threshold つまみの上に位置します（下図参照）。



リミッタスレッシュホールドつまみ

リミッタアタックタイムの調整

アタックタイムの調整：

1. リミッタの Attack つまみをクリック／ドラッグしてアタックタイム値を調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してアタックタイムを調整できます。数値ウィンドウはリミッタの Attack つまみの上に位置します（下図参照）。



リミッタのアタックタイムつまみ

リミッタリリースタイムの調整

リリースタイムの調整：

1. リミッタの Release つまみをクリック／ドラッグしてリリースタイムを調整します。
2. 数値ウィンドウをクリックすれば上下矢印キーで、または直接数値を入力してリリースタイムを調整できます。数値ウィンドウはリミッタの Release つまみの上に位置します（下図参照）。



リミッタのリリースタイムつまみ

内蔵サイドチェーンフィルターの使用

内蔵サイドチェーンフィルターについて

内蔵サイドチェーンフィルターとはゲインリダクションの検知回路に送られる信号の周波数特性を調整するためのイコライザーです。



内蔵サイドチェーンフィルターの有効化

HPF または LPF 数値ウィンドウの上に位置する IN ボタンをクリックしてフィルターを入/切します。IN ボタンが有効である時（フィルター作動時）には LED が点灯します。バイパス時には LED は消えます。

ハイパスフィルターの設定

HPF（ハイパスフィルター）は指定周波数より高い周波数帯域のみを通します。

HPF は低域から中域の周波数帯に作用します。



ハイパスフィルター部

ハイパスフィルターのバイパス

HPF のバイパス：

HPF の IN ボタンをクリックしてフィルターを入/切します。IN ボタンが有効である時（フィルター作動時）には LED が点灯します。バイパス時には LED は消えます。

ローパスフィルターの設定

LPF（ローパスフィルター）は指定周波数より低い周波数帯域のみを通します。

LPF は高域から中域の周波数帯に作用します。



ローパスフィルター部

ローパスフィルターのバイパス

LPF のバイパス：

LPF の IN ボタンをクリックしてフィルターを入/切します。IN ボタンが有効である時（フィルター作動時）には LED が点灯します。バイパス時には LED は消えます。

フィルターの使用

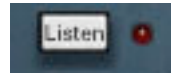
デフォルトではフィルターは無効となっており、コンプレッサ、リミッタ共に全周波数帯域に大して反応/作用します。フィルターを使用することによりコンプレッサ/リミッタが反応する周波数帯域を狭めることができます。各フィルターの周波数値は重なっているので特定の帯域にピンポイントで絞り込むことができます。またフィルターを適切に設定することによりダッキングやディエスなどの効果を得ることが可能です。さらに Listen（視聴）機能によってフィルターを正確に設定することができます。視聴機能については次章をご参照ください。

Listen（視聴）機能の使用

Listen ボタンを使用することによりゲインリダクション検知回路に送られる信号がどのように EQ されているか確認することができます。

視聴機能の有効化：

Listen ボタンをクリックして視聴モードの入/切を切り替えます。Listen ボタンが有効である時（視聴中）には LED が点灯します。バイパス時には LED は消えます。



視聴機能ボタン

内部または外部サイドチェーンの選択（TDM 版のみ）

内部または外部キー入力の選択：

URS コンプレッサ/リミッタ/内蔵サイドチェーン・バージョンの Pro Tools プラグイン ウィンドウ上部（灰色の部分）に位置するキーボタンをクリックし、キー入力ソースを切り替えます。



キー入力ソース選択ボタン

ゲインリダクションメーターの使用

ゲインリダクションメーターはコンプレッサとリミッタによるレベルの減少値を示します。

リミッタ、コンプレッサ、または両方を選択：

この機能は URS コンプレッサ/リミッタ/内蔵サイドチェーン・バージョンのみに装備されています。

ゲインリダクションメーターの上に位置するトグルスイッチによりゲインリダクションメーターが表示する信号のソースを切り替えます。

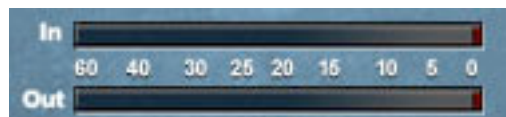
- スイッチを左に設定するとリミッタが選択されます。
またトグルスイッチ左の「Limit」をクリックして選択することも可能です。
- スイッチを右に設定するとコンプレッサが選択されます。
またトグルスイッチ右の「Comp」をクリックして選択することも可能です。
- スイッチを中央に設定するとリミッタ/コンプレッサ両方が選択されます。
トグルスイッチの中央をクリックして選択することも可能です。



コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーン・バージョンのゲインリダクションメーター

入出力プラズマ VU メーターの使用

入力と出力メーターは上下に並んで配置されているためプラグインウィンドウ内で素早くレベルを比較することができます。Pro Tools ではオーバーロードを防ぐためゲイン・ステージが非常に重要です。メーターには赤色のクリップインジケーターが付いています。



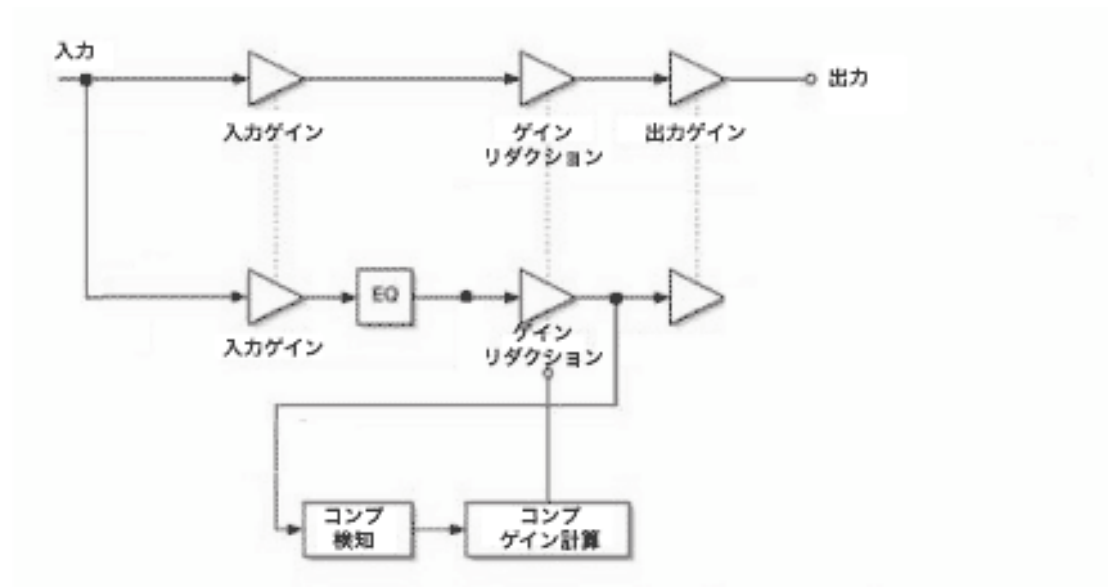
URS コンプレッサ入出力メーター

クリップインジケーターのリセット

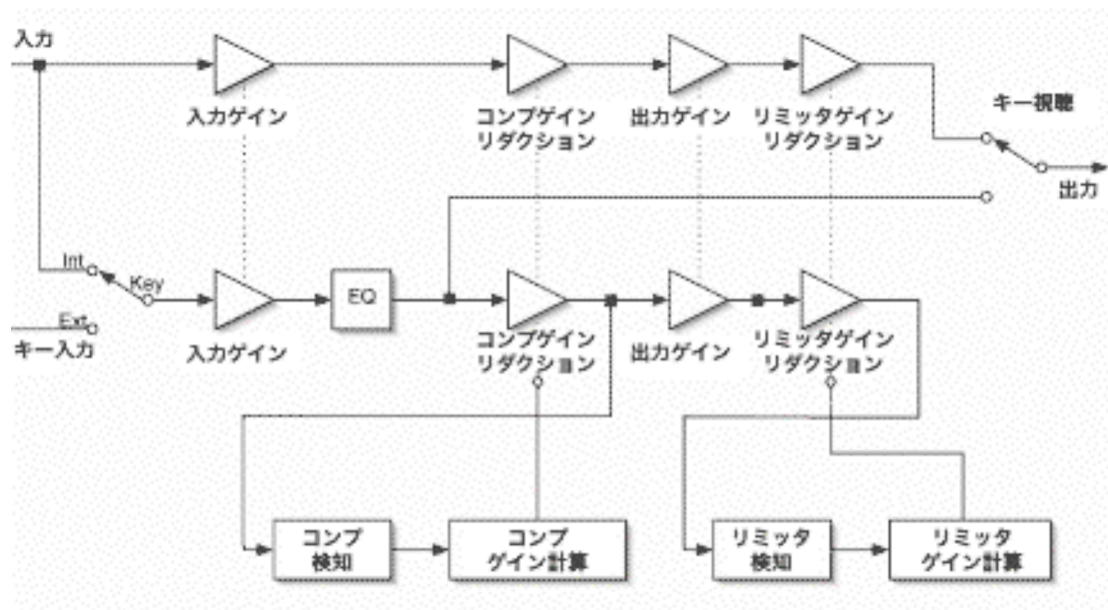
- 赤く点灯している部分をクリックするとリセットされクリップインジケーターは消えます。
- ヒント：Option キーを押さえながらクリップインジケーターをクリックすると入出力とも同時にリセットされます。

第5章：ブロック図

コンプレッサのみバージョンのブロック図



コンプレッサ/リミッタ/サイドチェーン・バージョンのブロック図



第6章：操作上のヒント

本章では Classic Console Compressors の能力を最大限に引き出すためのヒントやコントロールサーフェスに関する追加情報が記述されています。

ICON、ProControl、Control|24、他のコントロールサーフェス

Classic Console Compressor は Digidesign ICON, ProControl, Control|24, Command 8 に完全対応しているほか、他のコントロールサーフェスにも対応しています。例えば ProControl の DYN 機能で URS プラグインを選択することが可能です。

さらに ProControl は URS プラグイン内のスイッチを BYPASS/IN/ø スイッチ (DSP Edit/Assign 部) にマッピングします。

次の表はコンプレッサの各パラメータ名のコントロールサーフェスでの表記を示しています。パラメータを調整するには任意のつまみ、またはフェーダー (コントローラーが Flip モードに対応している場合)

URS コンプレッサ・コントロールサーフェス略字表記

コントロールサーフェス	URS コンプレッサ
Lvl	入力レベル
Gan	出力レベル
Rat	レシオ
Atk	アタックタイム
Rls	リリースタイム
Thr	スレッシュホールド

URS コンプレッサ/リミッタ・コントロールサーフェス略字表記

コントロールサーフェス	URS コンプレッサ/ リミッタ
Lvl	入力レベル
Hpf	ハイパスフィルター周波数
Lpf	ローパスフィルター周波数
Gan	出力レベル
Atk	アタックタイム
Rls	リリースタイム
Thrs	スレッシュホールド

操作上のヒント

TDM と RTAS

TDM版プラグインはTDM使用の他、RTASでも使用可能です。

NATIVE版ではRTAS使用のみ可能です。

ミックス時にURSプラグインをRTASで使用することによって有効TDMリソースをTDM空間系プラグインや他のTDMのみ対応のプラグインなどに最大限活用することができます。

反対に録音中はレーテンシーの問題などからTDMで使用する事をお薦めします。

マルチ・モノについて (TDMとRTAS)

マルチチャンネル (2チャンネル以上) のトラック/マスターフェーダー/サラウンド・マスターフェーダーなどにURSプラグインを使用する際、ひとつのプラグインウィンドウから左右、サラウンドなど全てのチャンネルを同時に調整することができます。

1. 任意のサラウンドトラック/マスターフェーダーのインサートセレクターをクリックします。
2. ポップアップウィンドウの「マルチモノ TDM(または RTAS)プラグイン」のリストを選択します。
3. URS プラグインを選択します。

Pro Tools HD または MIX の 2チャンネル以上のマルチチャンネルトラック (LCRTM7.1) で使用可能です。

リンク機能を使うことですべてのチャンネルを同時に調整できます。プラグインのリンク機能についての詳細は Pro Tools マニュアルをご参照ください。

バージョン番号

URS コンプレッサのみと URS コンプレッサ/リミッタ/内蔵サイドチェーン・バージョンのバージョン情報

インストールしてプラグインのバージョン情報を表示するにはプラグインウィンドウ右上にある URS のロゴマークをクリックします。再度クリックするとバージョン情報ウィンドウは閉じます。



URS ロゴマーク

スクロールホイールマウス対応

URS コンプレッサは Mac OSX Panther と Tiger にてマウスのスクロールホイールに対応しています。

マウススクロールを使用する際クリックは必要ありません。

マウスカーソルをつまみの上に移動するだけでスクロールホイールに反応します。

マウスのスクロールホイールでコンプレッサのつまみ、ボタン、そして数値ウィンドウの数値が調整可能です。スクロールホイールを一目盛り回すとパラメータは 0.1dB 単位で変わります。また Option キーを同時に押さえることで 10 倍 (1dB 単位) で調整されます。

Unique Recording Software

www.ursplugins.com

URS クイックスタートガイド

URS プラグインを使うには次の事項が最低限必要です。

1. iLok と iLok.com ユーザーアカウント
2. URS ウェブサイトにログインするための URS ユーザーID
3. iLok.com ユーザーアカウントにライセンス (asset) を自動転送するために URS ウェブサイトにて製品登録
4. iLok.com ユーザーアカウントからご使用の iLok へ URS ライセンス (asset) を転送
5. コンピューターに Pace Interlok Extensions をインストールし、再起動
6. URS ソフトウェアをインストール

<p>1. iLok と iLok.com ユーザーアカウントが必要です。</p> <p>iLok.com ユーザーID はwww.ilok.com で作成します。 iLok を iLok.com と同期します。 詳しい情報： www.ursplugins.com/ilokID.html</p> <p>iLok は販売店にてご購入ください。</p>	
<p>2. URS ウェブサイトにログインするため URS ユーザーID を作成します。 登録は：www.ursplugins.com/reg.html</p>	
<p>3. iLok.com ユーザーアカウントにライセンス (asset) を自動転送するために URS ウェブサイトにて製品登録を行います。 ログイン：www.ursplugins.com/login.html</p>	
<p>販売店でご購入された場合 URS ウェブサイトトップで“Register Products”をクリックします。 ライセンスカードに記述されてあるライセンス番号を入力します。 ライセンスが自動的にお客様の iLok.com アカウントに転送されます。 さらなる情報：www.ursplugins.com/register.html</p>	
<p>URS オンラインストアでご購入された場合 (レンタルライセンスを含む) URS ウェブサイトトップで“Register Products”をクリックします。 オンラインストアの伝票に記述されてある伝票番号 (Order#) を入力します。 ライセンスが自動的にお客様の iLok.com アカウントに転送されます。 さらなる情報：www.ursplugins.com/register.html</p>	
<p>デモユーザー URS ウェブサイトトップで“Request Demo Licenses”を選択します。 デモをご希望の製品を選択し、“Request”をクリックします。 デモライセンスが自動的にお客様の iLok.com アカウントに転送されます。</p>	
<p>4. iLok.com ユーザーアカウントからご使用の iLok へ URS ライセンス (asset) を転送します。 www.ilok.com にログインし、ライセンス (asset) をお客様の iLok へ転送します。 www.ursplugins.com/iloktransfer.html をご参照ください。</p>	
<p>5. Pace Interlok Extension ドライバをインストールします：http://www.paceap.com/dldrvr.html Pace Interlok Extension のインストールは必須です。 ご使用の iLok を正常に検知するには再起動をおすすめします。</p>	
<p>6. プラグインの最新版は URS のダウンロードページにございます。 www.ursplugins.com/login.html にログインし、“Downloads”をクリックします。</p>	
<p>TDM 版ライセンスをご購入された場合は TDM 版をダウンロードします。 これらは Downloads ページにございます。 (このように白地配色のセクションにございます)</p>	
<p>NATIVE 版ライセンスをご購入された場合は Native 版をダウンロードします。 これらは Downloads ページにございます。 (このように灰色配色のセクションにございます)</p>	
<p>デモまたはレンタル用ライセンスの場合は Demo/Rental 版をダウンロードします。 これらは Downloads ページにございます。 (このように青色配色のセクションにございます)</p>	
<p>7. ソフトウェアおよび Pace Interlok Extensions を最新バージョンにアップデートするには： www.ursplugins.com/upgrade.html にアクセスください。</p>	

注：問題がある場合は下記のアドレスにサポートリクエストフォームがあります：
www.ursplugins.com/supportrequest.html